

平成23年5月10日

## 防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成23年度病害虫発生予察防除情報第2号

### 茶のクワシロカイガラムシの防除対策について

本虫の第1世代の防除時期が近づいています。下記の点を参考にして適期防除をお願いします。

#### 記

#### 1. 発生状況等

(1) 本虫第1世代のふ化盛期は、下表のとおりと予測される。

表 第1世代のふ化盛期予測日(月/日)

地区名	標高(m)	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年	平成19年
東彼杵町太の原	360	5/30	5/24	5/21	5/22	5/26
五島市上大津	77	5/20	5/12	5/8	5/16	5/6

注: 方法は「有効積算温度則による防除適期予測法(農林技術開発センター茶業研究室)」により、東彼杵町太の原: 5月6日(農林技術開発センター茶業研究室による測定値)、五島市上大津: 5月9日(アメダスデータ)時点で予測した。なお、それぞれ5月6日以降及び5月9日以降のデータは平年値を用いた。

- (2) 4月下旬の巡回調査(16筆)における寄生株率は6.4%(平年8.1%)、発生圃場率は50.0%(平年50.8%)であった。
- (3) 気象予報(福岡管区气象台、平成23年5月6日発表)によると、向こう1か月の気温は平年並または高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

#### 2. 防除対策

- (1) 同一地区内の圃場でも標高や土地条件により気温が異なり、ふ化盛期が前後する場合がありますので注意する。
- (2) ふ化後の幼虫が1回脱皮して口ウ質のカイガラを作りはじめると、薬剤の効果が低下するので、ふ化盛期(50%ふ化卵塊雌率が半数となった日)~5日後までに防除する。なお、現地でふ化状況を調査している場合は、その調査に基づいて防除時期を判断する。
- (3) 株内の枝や株元に薬液がかかるように十分量散布する。
- (4) 発生を認めていない園でも新たな発生に注意する。
- (5) 薬剤散布にあたっては、使用基準を遵守する。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス: <http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL: 0957-26-0027